



蒼穹

あおぞら

八戸市立長者中学校
学校だより第2号
文責：石毛 清八
平成29年 4月11日
TEL(0178)43-4871

第56回 入学式 新生活へ希望膨らむ

4月7日、入学式が行われた。真新しい制服に身を包んだ新入生が、家族に見守られながら期待と不安を胸に、新生活への第一歩を踏み出した。今年度は80名の新入生が入学。授業や部活動、学校行事を通して、豊かな心と学力を育んでいく。入学式で校長が「勉強や学校行事、部活動などに積極的に取り組み、3年間で心と体を鍛え、将来に向けての準備をしてください。」と激励。新1年生を代表して、1年1組の工藤琴葉さんが「これから3年間、先輩方が築き上げてきた伝統をしっかり学び、長者中学校の生徒としての誇りを持ち、何事にも全力で取り組んでいきたい。」と誓いの言葉を述べた。



心と体を鍛え 将来の準備をする

校長 石毛 清八

水温み、春の光柔らかに降り注ぐ今日のよき日、多数のご来賓並びに地域・保護者の皆様のご臨席を賜り、平成29年度入学式を挙げていただけますことに、心から感謝申し上げます。

保護者の皆様、本日はお子様のご入学、誠にありがとうございます。高いところからではございますが、心よりお祝い申し上げます。

80名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。私たち教職員、在校生一同、希望に輝く皆

さんの入学を心から歓迎いたします。これからみなさんが中学生として頑張っていくために、長者中学校の先生方はあらゆる手助けを惜しみません。本校の先生方は優しくもあり、時には厳しくもあると思います。しかし、常に皆さんのことを考え、温かく見守ります。困ったときはいつでも相談してください。また先輩である2年生、3年生も自分たちの経験をもとにして、きっと温かく応援してくれます。皆さんの保護者の方や地域の皆様も必ず支えとなってくださいます。しかし、頑張るのは、努力するのはみなさん一人一人、自分自身であることを忘れないでください。長者中学校の伝統を受け継いでいけるよう、皆さんの努力を期待します。

さて、義務教育の最後である中学校の3年間は、15歳までの短い期間ですが、とても貴重な時期と

なります。体の成長はもちろんのこと、心の成長も子供から大人への入り口まで駆け足でやってきます。3年生になれば、自分の将来を真剣に考え、その方向性を見極め自分で切り拓いていかなければなりません。厳しいようですが、この3年間は、その準備をする3年間であることを心してください。中学校って大変なところだなと思っていますが、それほど心配することはありません。皆さんは小学校でたくさんのことを学んできたと思いますが、中学校でも大切なことは同じなのです。それをお話します。

それは人の話をしっかり聞くということです。おそらく、小学校からずっと言われてきたことだと思います。簡単ですが、これが意外と大変なことでもあります。皆さんは、今集中して私の話を聞いていると思いますが、もし、皆さんの中に、今この瞬間、別のことを考えていたとしたら、集中力が切れてしまって、私の話が聞けていないことになります。どうですか、大丈夫ですか。話を聞くということは、集中力を切らさないことです。集中力を持続させるには体力が必要です。とても疲れます。だから、中学校では、集中力を持続するため、心も体もさらに鍛えていかなければなりません。

話がしっかり聞ければ、次は、考えるということです。これにも、集中力が必要です。皆さんも経験したことがあると思いますが、好きなことを一生懸命考えているときは、時間がたつのが早く感じます。集中できていないと、時間がたつのがとても遅く感じたはずです。しっかり聞いて、しっかり考えることができれば、それが自信となり形に表したり、表現したりできるのです。ぜひ集中力をつけてください。

次に思いやりの心をもつことです。友達への思いやり、家族への思いやり、学校への思いやり、環境への思いやり等様々です。本校の伝統は、挨拶がしっかりできることと、隅々にまで行き届いた丁寧な清掃活動です。挨拶は、人と人との心をつなぐ大切なコミュニケーションです。気持ちのよい挨拶は、心を明るくします。また、丁寧な清掃活動は、学校がきれいになり、気持ちがよく、居心地のよい環境をつくります。挨拶も清掃活動も思いやりの心が必要です。この良き伝統は、君たちの心はもちろん体も鍛えてくれます。先輩を見習って頑張ってください。

どうですか。小学校からずっと言われてきたことですよね。何も中学生になったら今までと全く違うことをするのではないのです。小学校でやってきたことの延長線上にあります。ただし、環境や活動内容には違いがあります。中学校では、数学や英語な

どの教科の勉強などをはじめ、合唱コンクールや体育祭などの行事、修学旅行、職場体験、あるいは生徒会活動、部活動などがあります。ぜひ、積極的に取り組み、3年間で心と体を鍛え、将来に向けての準備をしてください。

最後になりましたが、保護者の皆様、私ども教職員一同は、お子様をお預かりした大きな責任を果たすべく全力を尽くす決意しております。これからの3年間どうぞよろしくお願ひいたします。

また、本日はご多用の中、多くのご来賓の皆様にご臨席賜り誠にありがとうございます。厚くお礼申し上げます。今後とも新入生の成長を温かく見守っていただけますようよろしくお願ひいたします。

それでは、新入生の皆さん、この長者中学校で立派に成長してくれることを願って校長の式辞といたします。
(2017.4.7 入学式)

新入生代表誓いの言葉

1年1組 工藤 琴葉

あたたかな春の光にさそわれて、桜のつぼみもふくらみ始めた今日の良き日、私達新入生80名は大きな希望を胸に抱いて、この長者中学校の門をくぐりました。緊張と不安の中にもこれから始まる学校生活への期待で胸がいっぱいです。

これから、今までとは違う環境で、私達は様々な知識を身につけたり、部活動に打ち込んだり、新しいことに挑戦していきます。楽しみなのは文化祭や合唱コンクールなどの行事です。小学校とは違い、クラスで話し合いながら一つのものを作り上げていくという、貴重な経験を通して成長していきたいと思います。その反面、勉強についていけるかと不安もあります。毎日の努力を忘れず、一生懸命取り組んでいきたいと思いますので、先生方、先輩方、ご指導よろしくお願ひいたします。

新入生の皆さん、今日から私達はここにいる新しい仲間と過ごしていきます。今日、初めて会うという人も多いと思いますが、これから様々な場所で協力し合い、共に成長し、良い影響を与え合いながら楽しいクラスを築いていきましょう。

これから3年間、先輩方が築き上げてきた伝統をしっかり学び、長者中学校の生徒としての誇りを持ち、何事にも全力で取り組んでいきたいと思ひます。中学校を卒業するときには、夢をかなえられるように、学力はもちろん、人として成長できているように努力します。

そして、仲間を大切に、あきらめず最後までやり抜く強い心を持って、自分自身の向上に努めていくことをここに誓ひます。